

## 音楽科調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現及び鑑賞の活動を取り扱うために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○音楽活動の基礎的な能力を培うために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
特 色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表現及び鑑賞の活動に必要な音楽活動の基礎的な能力を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置の仕方など、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを生かして表現したり、鑑賞したりする学習において、学習のねらいに応じた言語活動を促すために、必要となるヒントや情報の提示の仕方など、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に学習に取り組む上で、体験的な学習や見通しをもった学習を進めるために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の音楽等の取扱いについて、学習のねらいとの関連など、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○児童が協同して音楽をつくり上げる喜び等を実感できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○児童と音楽との出会い方などに、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各題材において、各学年の指導事項と〔共通事項〕のかかわりについて、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○教材の選択について、音域や演奏の難易度への配慮を含めて、教材の系統性にどのような工夫が見られるか。</li> <li>○音楽づくりの活動について、思いや意図、見通しをもって音楽をつくるために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるか。</li> <li>○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトにはどのような工夫が見られるか。</li> </ul>
	表 記・表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現教材や鑑賞教材の譜例の使い方など、楽譜の提示方法にはどのような工夫が見られるか。</li> <li>○音符、休符、記号、音楽にかかわる用語の取扱いには、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>小学音楽 音楽のおくりもの <span style="float: right;">教育出版</span></p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p>○主要部分と選択可能なオプション（選択）部分で構成され、効果的に組み合わせることにより、表現と鑑賞の活動がバランスよく学習できるように工夫されている。</p> <p>○発達の段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解と関連する教材等、幅広いジャンルの教材が用意され、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</p> <p>○学習内容は2学年ずつのまとまりで系統的に配置され、発達の段階に応じて継続的、発展的に学習できるように工夫されている。</p>	
<p>特 内 容</p>	<p>色</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、段階をおって学習できる教材を配列し、継続的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○音楽を言葉で表すために、活動のポイントの中や巻末に音楽を形づくっている要素「音楽のもと」についての説明や「音楽を表すいろいろな言葉」が書かれており、学習を容易にする工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○活動のポイントを示すマークや発展的な活動例、直接書き込みができる欄が設けられており、主体的に学習することができるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫&gt;</b> ○歌唱共通教材「にっぽんのうた・みんなのうた」では、歌詞から想像される情景や季節感を感じる写真と説明文によりイメージを広げる工夫がされている。</p> <p>○全学年を通して「日本の音楽」に関する教材を設定し、「わらべうた」「民謡」「お囃子」等に親しめるように写真等の資料が豊富に用いられている。</p> <p>○発達の段階に応じた全校合唱曲があり、全校で一つの音楽をつくっていく体験を通して協同する喜びを感じることができるように工夫されている。</p> <p>○巻頭に著名人の写真やメッセージを掲載し、自分と音楽とのかかわりや音楽のもつ意味等を考える学習活動に取り組めるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</b> ○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞のいずれにおいても〔共通事項〕を手掛かりとして、児童が学習できるように構成されており、文章や巻末の「音楽のもと」等で繰り返し学習できるように工夫されている。</p> <p>○歌唱教材は、写真や挿絵から情景をイメージして表現できるように工夫されている。器楽教材では、低学年からいろいろな楽器に親しめるように工夫されている。また、巻末の「音楽ランド」には、全学年を通じて多くの楽曲が掲載されている。</p> <p>○音楽づくりでは、鑑賞との関連を重視し「音のスケッチ」の中で系統的、発展的に位置付けられている。また、学習の手順、活動例、ヒント等が豊富に示されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>色</p>	<p>○各教材の外側に開きながら参照できるように、楽器の紹介や奏法、音符、記号、リコーダーの運指表を巻末の折り込みページに掲載している。</p> <p>○透明シートや両開きの折り込みページを設定し、色鮮やかな写真やイラストなどから視覚的に活動のイメージをつかむことができるように工夫されている。</p>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>色</p>	<p>○楽譜や文字の大きさも発達の段階に応じて設定されている。</p> <p>○発達の段階に応じて、記号や用語の表記が巻末や別枠に示されている。また、楽譜上にある記号や用語について、指導要領外の内容は「はってん」として表記している。</p> <p>○〔共通事項〕が見開きごとに題材の下に示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>色</p>	<p>○たくさんの情報を盛り込んでいるため、総ページ数が増えている。</p> <p>○各学年に示されている「にっぽんのうた・みんなのうた」は、歌い継いでいきたい我が国の歌の扱い、我が国の自然や四季、くらしと音楽のかかわりが掲載されている。</p>

書名		<h1>小学生の音楽</h1>		教育芸術社
項目				
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり		<p>○題材は6年間を通して系統的に設定されており、表現と鑑賞の関連を図りながら学びが学年の中でつながり、学年を超えてつながるように構成されている。</p> <p>○発達の段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解、道徳的観点と関連する教材を配置し、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</p> <p>○学年の目標を踏まえ、2学年共通の題材、活動内容が示され、段階的、系統的に学びが発展するように工夫されている。</p>		
特 色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○6年間を通して段階的、系統的に学習できるように題材が構成され、題材に即した教材配列により、繰り返しの学習や学びの積み重ねができるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等の育成する工夫&gt;</b></p> <p>○譜例、吹き出し、重要な理解事項や学習事項をまとめている「ふり返りのページ」により、感じ取ったことをもとに言葉や音楽で表現できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各教材の上部に題材のねらいを踏まえた学習目標が示され、児童が学習の見通しを意識することができる。また、具体的な活動例やキャラクターが学習の目標に迫るためのヒントを示し、児童が主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○歌唱共通教材「こころのうた」では、我が国の文化や自然について説明文や情景等が示され、児童の知的好奇心や感受性を働かせて歌えるように工夫されている。</p> <p>○全学年を通して「日本の音楽」に関する題材を設定し「わらべうた」「民謡」「お囃子」等に親しめるよう表現と鑑賞の活動を関連させた題材構成になっている。</p> <p>○友達と協力したり、グループの中で意見交換したりしながら、ともに一つの音楽をつくる教材が設定され、コラムには活動における具体的なヒントも示されている。</p> <p>○巻頭「音楽プリズム」は、音と音楽、心情、生活と関連した内容を掲載し、音素材からのアプローチにより、音楽を様々な観点から見つめる工夫がされている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</b></p> <p>○〔共通事項〕が、どのような学習内容に活用するのか、題材、学習目標、学習活動文、学習情報に示されている。また、〔共通事項〕は、文章や吹き出し、「ふり返りのページ」等で繰り返し学習しながら確実な学びがなされるように工夫されている。</p> <p>○歌唱教材は、学年に応じた音域に配慮し、言葉の抑揚やまとまりを感じ取らせるために縦書きの歌詞が多く掲載されている。楽器の扱いについては、教材や学習活動の中で配置されており、次の教材に学びが継続して扱えるように工夫されている。</p> <p>○音楽づくりでは、〔共通事項〕を核として題材構成の中に配置され、他の音楽活動と関連させながら取り上げられており、見通しをもって無理なく学習が進められるように学習の手順、約束ごと、活動例、ヒント等を具体的に示している。</p>		
	資 料	<p>○巻末等に楽器の紹介や奏法、リコーダーの運指等が写真やイラストで示されている。楽器の奏法が学習ページ内に示され学習をスムーズに進める工夫がされている。</p> <p>○全ての児童に学習内容の重要な部分が優先的に目に飛び込んでくるように、シンプルな文章表現やデザインになっている。写真やイラストの上に示されている楽譜、歌詞、文字は確実に識別できるように濃度や配色が工夫されている。</p>		
表記・表現		<p>○楽譜と縦書きの歌詞が教科書見開きで、楽譜等の表記も発達の段階に応じている。</p> <p>○記号や用語については、巻末や「新しく覚えること」として別枠に示されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号がふられ、ツメによって題材のまとまりが示されている。</p>		
総 括		<p>○題材、教材の分量及びバランスは、各学年の授業時数、授業時間に配慮して設定されており、総ページ数が6年間を通して統一されている。</p> <p>○発達の段階に応じて、各学年に「歌いっごう日本の歌」として童謡や唱歌などが取り上げられており、世代を超えて日本の文化を共有できるよう工夫されている。</p>		

音楽科調査資料2

○分量について

		教出	教芸
1 総ページ数 ※表紙から裏表紙まで全てB5判の枚数に換算する。	1年	8 2	7 6
	2年	8 2	7 6
	3年	8 5	7 6
	4年	9 2	7 6
	5年	9 2	7 6
	6年	9 2	7 6
2 挿絵、写真、イラストの数 ※一定のまとまりをもって一つとカウントする。	1年	7 5	7 6
	2年	7 5	7 4
	3年	7 1	6 8
	4年	6 9	6 2
	5年	6 8	6 5
	6年	6 1	5 8

○学習活動別教材数について

		教出	教芸
1 歌唱の教材数（うち楽譜のない教材数） ※2と重複しているものもある。	1年	4 7 (17)	3 8 (18)
	2年	3 6 (3)	3 4 (8)
	3年	3 0 (0)	2 4 (2)
	4年	3 0 (0)	2 6 (2)
	5年	3 2 (0)	2 8 (2)
	6年	2 8 (0)	2 5 (1)
2 器楽の教材数（うち楽譜のない教材数） ※1と重複しているものもある。	1年	1 5 (6)	1 5 (4)
	2年	1 4 (3)	1 4 (2)
	3年	2 2 (2)	1 9 (2)
	4年	1 7 (2)	1 7 (1)
	5年	1 6 (3)	1 1 (1)
	6年	1 4 (2)	1 0 (2)
3 音楽づくりの教材数	1年	7	3
	2年	5	5
	3年	4	4
	4年	4	4
	5年	4	2
	6年	3	2
4 その他の表現の教材数	1年	3	2
	2年	3	0
	3年	2	1
	4年	1	1
	5年	2	1
	6年	1	0

5 主となる鑑賞の教材（題材）数	1年	10	8
	2年	19	10
	3年	17	28
	4年	42	44
	5年	68	10
	6年	8	10
6 表現と鑑賞の活動の関連を図った教材（題材）数 ※1～6と重複してカウントする。	1年	4	7
	2年	8	7
	3年	5	5
	4年	5	7
	5年	4	4
	6年	6	4
7 歌唱、器楽、音楽づくりの活動の関連を図った教材（題材）数 ※1～6と重複してカウントする。	1年	6	3
	2年	4	5
	3年	4	3
	4年	4	4
	5年	2	2
	6年	1	2

#### ○その他

		教出	教芸
1 我が国の音楽（表現・鑑賞）の教材（題材）数 ※民謡等紹介はそれぞれカウントする。 ※外国曲の編曲は除く。 ※前項の教材数と重複してカウントする。	1年	38	36
	2年	31	26
	3年	25	46
	4年	56	60
	5年	84	26
	6年	27	27
2 音符、休符、記号、音楽にかかわる用語の解説の数 ※ページ単位でカウントする。	1年	1	2
	2年	4	6
	3年	7	12
	4年	13	12
	5年	11	13
	6年	10	8